



● 上田埼玉県知事のとことん訪問



8月25日、上田県知事が狭山市を訪れました。この訪問は、知事が「とことん訪問」と命名して、県内のどこでもとことん訪問し、とことん見学し、とことん話し合い、課題

をリアルタイムに把握して、的確で迅速な県政運営を進めるために実施しているものです。

当日は、猛暑の中、狭山市駅西口地区の整備のようすを精力的に聞いて回り、その後、地区の関係者の方たちと意見交換を行いました。知事は、「イベントなどの仕掛けを通じて、駅前のにぎわいを周辺へ波及させていくことが大事だと思います」と話していました。

問合せ政策企画課へ内線7132

● 市長と話そう2010 ふれあい市民懇話会

総合振興計画後期基本計画の策定に当たり、市民の声をより計画に反映させるため、市民と市長が直接意見を交換する場として、ふれあい市民懇話会を開催します。



区 昨年のようす（奥富地区センター）

開催日	時間	会場
9月29日	19時～20時30分	堀兼地区センター
9月30日		新狭山地区センター
10月1日		狭山台地区センター
10月5日		入間川地区センター
10月9日	14時～15時30分	水富地区センター
	19時～20時30分	奥富地区センター
10月12日	19時～20時30分	柏原地区センター
10月13日		入曽地区センター

懇話会の内容 総合振興計画後期基本計画（素案）の概要（市からの説明） 市民と市長の懇談 手話通訳あり。入間川地区センターは保育あり（原則1歳以上。予約が必要）

問合せ政策企画課へ内線7132

狭山市次世代育成支援計画・前期計画の実施状況

市では、次代を担う子ども達が、健やかに生まれ育つための環境づくりを進めるために、「狭山市次世代育成支援計画」を平成17年3月に策定しました。この前期計画に位置づけた184事業について、21年度までの実施状況がまとまりましたので、その結果をお知らせします。

■ 狭山市次世代育成支援計画とは

この計画は、市の子育て・子育て支援施策を一体的かつ総合的に推進するために策定したもので、平成17年度から21年度までを前期計画、22年度から26年度までを後期計画として、さまざまな事業に取り組んでいます。

■ 3つの基本的な視点

子どもがのびのびと健やかに育つために 親がゆとりをもつて安心して子育てができるために 地域があたたかく子育て、子育てを支えるために

計画の推進 市民の代表で構成する狭山市次

世帯育成支援対策地域協議会などが中心に、毎年、計画の実施状況を把握・点検し、結果を公表します。

■ 前期計画では全体の85％を実施 前期計画での目標達成は46・9％、おおむね実施が38・8％、一部実施が11・6％、検討・調査中が2・7％となっています。

市長随想 婿



狭山市市長 仲川幸成 似顔絵・池原昭治氏

高校卒業50年

過日、高校を卒業して、50年めのクラス会がありました。

豊岡実業高等学校農学科の卒業生48名に連絡したところ、連絡がとれたのは40名でした。そのうち24名の出席で往時を語り、半世紀にわたる友情を確かめました。

私は、学校まで自転車で約20



公式ホームページ内の「子育てナビ」

お子さんの年齢やカテゴリから、子育て・子育て支援に必要な情報が検索できます。



つどいの広場

前期計画(17年度～21年度)主な施策・事業の実施状況

主な施策・事業	計画実施前の状況 (16年度末)	計画目標	前期計画の実施状況
つどいの広場事業(1)	未実施	設置7か所	設置5か所
一時保育事業	実施6か所 人数60名	実施11か所 人数110名	実施12か所 人数120名
ファミリーサポートセンター事業(2)	会員382名	会員450名	会員625名
妊婦一般健康診査事業	妊娠前・後期の2回	受診の勧奨結果に基づくフォロー体制の整備 妊娠期の健康管理の充実	妊婦一般健康診査回数の拡充 (20年度・5回から21年度・14回) 全14回延べ13,729名
乳幼児健康診査事業	受診率95.0%	受診率95.5%	受診率... 4か月児健康診査95.61% 1歳6か月児健康診査95.01% 3歳児健康診査94.82%
子どもの虐待防止ネットワーク会議の充実(3)	未実施	狭山市要保護児童対策地域協議会の設置	19年3月に同協議会を設置。代表者会議1回、実務者会議12回、個別ケース会議29回、講演会を1回実施
保育所整備の推進	受入人数1,548名 (18か所。定員1,500名)	受入人数1,870名 (20か所。定員1,700名)	受入人数1,790名 (20か所。定員1,680名)
延長保育事業	実施16か所	全園実施	全園実施(20か所)
休日保育事業	実施1か所	実施3か所	実施1か所
病後児保育	未実施	実施1か所	未実施
学童保育室	設置17か所	設置18か所	設置19か所
地域子ども教室推進事業の推進(4)	実施2か所	実施7か所	実施11か所(開設準備教室を含む)
交通安全教育の充実	親子対象交通安全教室・年23回	親子対象交通安全教室・年28回	親子対象交通安全教室(年36回) 各校での交通安全教室 登校指導各校の通学路の危険箇所の確認 交通安全ポスターや作文の募集

(1)身近な地域での相談や親同士の交流の場 (2)会員制の一時預かりを中心とした相互援助活動
(3)児童虐待予防、早期発見、早期対応を適切かつ迅速に進めるため、子どもの虐待防止ネットワーク会議の充実を図る (4)児童が放課後など自主的に参加し、自由に遊べ、安全に過ごすことのできる居場所

主な施策、事業実施状況の詳細は、行政資料室やホームページでご覧になれます 問合せ子育て支援課へ内線1534

市長の主な動き



8/3...一般会計・特別会計・水道事業会計決算審査結果報告 8/5・6...全国基地協議会・防衛施設周辺整備全国協議会正副会長会議 8/7・8...入間川七夕まつり 8/10・26...定例庁議 8/11...埼玉県消防広域化第4ブロック協議会 8/17...白寿訪問 8/19...不老川流域対策推進協議会要望活動 8/21...川越総合卸売市場株取締役会 8/22...長寿者訪問 8/25...県知事とことん訪問

分けて通学していましたが、当時の入間地区は一面畑で、西武池袋線を越えると、基地の内外には駐留米軍のハウスが立ち並び、異国情緒にあふれていました。ハウスには石油タンクがあり、薪を燃やして食事を作っていた私たちとは大違いで、自家用車もすべての家にありました。また、張りめぐらされた金網の中には、守衛が銃を持って監視しておりました。さて、学校では作物、野菜、花、果樹、畜産、養蚕、農産加工(茶)の実習に加え、土と肥料、農業簿記などの理論学習もありましたが、校歌にある「出監の誉れ」を目指し、地域をつくるという意気を教え込まれたと感じています。現在では、通学していた風景もすっかり変わりました。今、卒業生で専業農家を続けている人は、わずか6人にすぎません。